

平成30年度 学校評価表

島根県立浜田水産高等学校

目指す生徒像	自律 礼節を重んじ、不撓不屈の気概を持った生徒 敬愛 豊かな人間性を持ち、自他を敬愛する生徒 進取 勤労を重んじ、時代に対応する実践力を身につけた生徒
--------	---

教育目標	(1)正義と礼節を重んじ、心身ともにたくましい人間を育成する。 (2)豊かな人間性を持ち、自他を敬愛し、自主的に行動できる人間を育成する。 (3)水産・海洋の専門的知識・技術を身につけ、社会に貢献できる人間を育成する。
------	---

【めざす学校像】 魅力と活力ある浜田水産高校 地域と共に・地域に応える・浜田水産高校をめざして

評価計画			自己評価			外部評価						
重点目標	短期(本年度)努力目標	目標達成のための方策	担当 及び 主管	取組と達成状況	評価 達成度	改善策	学校関係者評価7名					提言・コメント
							A	B	C	D	不明	
1. 生徒一人ひとりを大切に、生徒が意欲的に取り組む学校生活の展開	①わかりやすく、きめ細やかな授業を実践し、基礎学力の定着と学力の向上を図る。	・時間割変更など学校行事に適切に対処する。 ・漢字・計算テストをとおして基礎学力の伸張を計る。 ・資格試験の学習をとおし専門知識の向上を図り、進路保障の手助けを行う。	教務 各科	・時間割変更など概ね良好であったと考える。 ・新たに英単語テスト授業の遅刻指導、TT授業などをおこなった。 ・授業プリントの活用、グループ学習、ICTの活用、試験前の補習、進学者への添削指導をおこなった。	B+	・ICT機器の学習効果が高まる方法を提案していきたい。 ・TTの導入など来年度も生徒を育てるためにその時の状況に応じ必要な手立てを考え実践していきたい。	2	4			1	●2年生での三級・四級の合格はすごい。休日補習の成果のあらわれか。一方食品は、目玉になる国家資格が取得できれば、入学者も増えるのでは？(栄養士・調理など) ●小型移動式クレーンと玉掛資格など即戦力となる取得を検討してはいいかがか。 ●男子の制服は良くなっているが女子はたしかに(一部)まだだな〜と見受ける。 ●応募者増は様々な取組の成果だと感じた食品系も大いにPRしてほしい。 ●欠点者をゼロにもっていく指導はよい。資格取得も出来るだけ挑戦して将来につなげてほしい。 ●年々課題研究発表会はよくなっている。今年度はすばらしく良かったです。 ●情報は大事。遅れないように。 ●社会人になっても恥ずかしいことにならぬよう生活の基盤を身に付ける指導をお願いしたい。 ●校歌をもっと大きな声で。 ●年々資格取得者が増えてきている。この事で社会に出て頑張られる人間に育つ。 ●生徒の状態を観察してトラブル等を未然に対応出来るようにしてほしい。 ●学校の評判が年々良くなっている。このペースでなお一層PRしてほしい。私らも頑張ります。 ●「めざす学校像」の達成に向け日夜奮闘しているのが大変よくわかった。 ●入学生確保に各種方策を実行されており成果ありと思うが時には発想の転換も必要。マンネリ化打破！ ●生徒へ教科指導、進路指導、資格指導など教員の指導力向上が求められており研修も行われている。ゆとりをもって研修ができる環境が必要。 ●「生徒一人ひとりを大切に」が重点目標にあるように、これを基本理念において今後も教育活動にあたってほしい。 ●地域との交流はとてもよい活動だと思う。今後も継続をお願いしたい。 ●TTやICTの利用など、きめ細やかな授業は大変良いことだと思う。 ●水産浜田を支える後継者の教育・確保、人材育成をお願いしたい。本校の役割は大きい。 ●学校・行政・漁業者など関係者の意見交換の場づくりもお願いしたい。 ●入学生募集に取り組む新しいアイデアが必要。 ●年度末反省を数値化してみると問題点を把握しやすい。
	②基礎・基本を重視した授業・実習に努め、専門教育の充実を図る。	・研究授業、公開授業などをとおして、教員全体の授業力向上を図る。 ・シラバスに基づき、適切な授業進度や授業内容となる授業を行う。	教務 各科	・各科目で研究授業を実施したが11月に集中してしまい参観される先生方の数が少なかったり限定的であった。 ・各種資格合格者が増加傾向にある。2年生での四級海技士、三級海技士合格は良い刺激になった。	B+	・研究授業の実施時期・方法を再検討する。また保護者の来校数増加についても検討が必要と考えている。 ・生徒の進路希望に応じ個別指導について検討したい。	2	4			1	
2. 社会人として必要な資質の育成と基本的生活習慣の確立	①生徒一人ひとりの自己理解と自己管理能力を育成し、遅刻・欠席の減少を図る。	・高校生としての規範意識の育成と定着に努める。 (服装・頭髪について規則を守らせる) ・携帯電話についてのルール遵守 ・きちんとした挨拶・言葉遣いが出来る生徒を育てる。	生指 各科 保健	・遅刻の増減は無いが欠席は減少傾向にある。 ・保健室の利用は増加傾向。しかし授業を欠課する割合は低かった。心の問題については引き続き外部機関とも連携を図りながら対応していく。	B	・年度当初にLHRをつかい校内規則について周知徹底を図りたい。 ・校内巡視、校外巡視を継続したい。 ・市内三校との連携を図りたい。			5	1		
	②生徒個々の自己有用感を育成し、基本的生活習慣の定着を図る。(相応しい行動、挨拶、頭髪・服装、態度)	・校外でのマナーアップ(校外巡視) ・生徒会委員会活動の活性化 ・部活動の加入率向上 ・全教員による清掃活動の実施。	生指 各科 保健	・男子生徒は年々良くなっているが女子の指導が難しい。 ・実習をとおして挨拶ができるよう継続指導している。 ・寮・浜っ子祭り、田町運動会、地区清掃活動等地区行事に参加し良い経験が積めた。	B-	・次年度も登校指導を継続したい。 ・言葉遣いの改善は全教職員が共通理解のもとその場その場で指導する。 ・実習をとおした指導の継続。 ・地区行事への積極的参加。		2	4		1	
3. 望ましい勤労観の育成と進路指導の充実	①生徒一人ひとりの個性や適性、能力に応じた計画的なキャリア教育を推進する。	・生徒個々立場に立った進路相談を早期に開始する。 ・保護者・担任及び関係機関との連携を密にする。 ・進路や資格試験情報の収集と整理。 ・保護者及び担任への情報提供。 ・進路だよりの定期的発行。 ・水産海洋関連地場産業の新規開拓と地元への就職。	進路	・進路が「イダツス」等がインフルエンザにより中止となった。 ・進路希望を早めに調査し情報共有できた。 ・学力試験を課さない企業が増えてきており採用試験を安易に考える生徒もいる。	B	・進路が「イダツス」等の重要な行事については代替開催日を考慮する。 ・採用がゴールではないことの指導を関係機関と連携し実施する。	1	5			1	
	②生徒・保護者へ時宜を得た進路情報を提供し、早期の進路目標実現を図る。	・進路だよりの定期的発行。 ・水産海洋関連地場産業の新規開拓と地元への就職。	進路	・進路だよりは定期的に発行できた。資格試験の案内や申請は円滑にできた。 ・海や船に係わる進路を選択した生徒が多かった。 ・関係機関との連携はスムーズに行えた。	B+	・多様化する専攻科の進路希望への対応を検討していく必要がある。 ・進路だよりなど情報発信に努めると同時に人材育成CD等と連携を図る。	2	4			1	
4. 人権教育、道徳教育、特別支援教育を根拠に据えた教育活動の推進	①校内組織及び支援体制を充実し、研修や啓蒙など計画的な取り組みを行う。	・関係機関と連携し、生徒の進路保障及び自己実現を支援する。 ・互いを尊重し他人を思いやり差別を許さない態度と実践力を育てる。 ・教員研修実施。「人権・同和教育部だより」の発行による情報提供。	人権同和 保健	・進路部や学年部と連携し受験報告書を確認した。 ・外部講師を招き、1月に同和教育講演会を実施。 ・心身の健康問題を早期に発見し組織的に対応できた。 ・人権・同和教育部LHRデータベースを作成した。	B	・人同部だけでなく関連部と連携の在り方を模索しつつ緊密な関係を維持していく。 ・SC等外部機関とも連携を図る。 ・効果的な支援について検討する。	1	5			1	
	②あらゆる教育活動をおとし、人権意識・共生意識を育み、社会性を身につけさせる。	・イジメのない学校を目指し早期発見、早期対応に努める。 ・携帯電話等の使用上のマナーや危険性を理解させ、ルールを遵守させる。 ・関連する講演会の実施。	生指 人権 保健 倉務	・生徒の実態や教員のニーズに応じたLHRの実践。 ・人権・同和教育部だより(生徒・保護者版)の発行。 ・毎日の清掃活動が円滑に実施できた。 ・舎:清掃・整理整頓など粘り強く指導してきた。ゴミの分別など概ね良好であった。	B	・学年部と連携したLHRの継続実施。 ・全教員による清掃活動の監督・実践。 ・携帯電話使用についてルールの徹底と外部講師を招いた研修会の実施。 ・舎:挨拶や時間厳守の徹底を図る	1	4			2	
5. 水産・海洋教育を担う学校として、地域と共に活力ある学校づくりの推進	①地域と学校の連携をより一層深め、開かれた学校づくりを推進する。	・学校・園・所、行政、民間との連携を更に深め、園児や小・中学生の体験授業、水高祭、課題研究、地域のイベントなどの実施をとおして、開かれた学校づくりを推進する。 ・本校の魅力や活動を浜水だより等で積極的に情報発信する。また県内外の進学説明会を積極的に行い、生徒募集を充実させる。	総務 各科 倉務	・地元企業と連携した商品開発を行うことができた。 ・地域のイベントに参加しPR活動に努めることができた。 ・地元の小学生、園児、海洋少年団等多くの方々を招いて水産海洋教育の体験学習を実施した。	B+	・体験入学に力を入れ入学生志願者増につながるよう努力したい。 ・課題研究をとおし地域との連携を図り担い手を育成にもつなげたい。 ・出迎え出前授業を今後も実施したい。	2	4			1	
	②魅力ある教育活動を積極的に情報発信し、生徒募集に努める。	・本校の魅力や活動を浜水だより等で積極的に情報発信する。また県内外の進学説明会を積極的に行い、生徒募集を充実させる。	総務 各科 倉務	・島根留学PR活動には積極的に参加し成果が現れてきた。 ・浜水だよりを定期的に発行することができた。 ・水高祭も盛大に実施できた。	B	・県外募集活動や県内募集活動に積極的に取り組みたい。「浜水だより」などは今後も発行し、水高祭はより盛大に実施していきたい。	4	2			1	

【評価】 A:十分達成できた B:概ね達成できた C:やや不十分であった D:まったく不十分で達成できなかった E:わからない(評価できない)

